

平成30年度自己評価結果公表シート

アソカ幼稚園

1. 本園の教育目標

親鸞聖人のみ教えを基に、「いのち」を大切にする子、思いやりの心をもつ子、感謝の心をもつ子、たくましい心と体をもつ子の育成を目指している。

豊かな環境のもと、子どもの心身の発達を助長すべく、よく見よく考え正しく行動できる子ども、よく遊びがんばりのきく元気な子ども、手を合わせやさしく思いやりのある子どもを育てることを目標としている。子ども一人ひとりが日常の遊びの中で自主性と協調性を養い、健康・環境・人間関係・言葉・表現等が調和のとれた心身の発達育成を旨に保育を展開している。

2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標と計画

(1) 現行の保育内容や年間行事等の点検をするとともに、子どもの実態に則した保育を確立するため、教職員共通理解のもと、保育の質の向上をめざす。

(2) 子育て支援を積極的にすすめるため、預かり保育(延長保育)や未就園児クラスを充実する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 保育内容や年間行事等の点検	指導計画に基づく保育内容や年間行事等を子どもの状態を勘案しつつ、実行反省点をふまえ、職員会議・連絡会等で改善に努めている。
② 預かり保育・未就園児親子教室の充実	子育て支援のため、例年通り預かり保育を実施。長期休業期間中(夏・冬・春)も実施し、多数の方が利用できるようにする。 未就園児親子教室に於いては、今年度より無料することにより、前年度より参加する親子が増えた。
③ 保育の質の向上努力と研修の充実	各種研修会や研究会参加で学び得たことを職員間で共有し、職員会議等で成果や反省点を自由に発言協議できる環境を整え、質の向上に努力する。
④ 保護者の要望把握と対応	保護者アンケートを実施し、保護者からの意見や要望には園から説明と意向を示し、保育時間や施設面等の改善すべき点については実現に向け取り組んでいる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題については、教職員会議等で全員が共通に理解している。各々に自己評価反省を行い、取組ことを話し合い具体的な改善策と実践につながる基礎を培うことができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
① 自己点検・自己評価	各教職員でさらなる課題を上げるべく研鑽を積む。毎年継続して行う。
② 幼保小の連携強化	円滑な小学校就学への園児・児童との交流や、教員相互の情報交換を積極的にすすめる。
③ 未就園児親子教室の充実	親子と制作する保育内容となっているので、今後は体を動かす楽しさを知ってもらうために親子体操も取り入れていきたい。

6. 学校関係者の評価

学校評価にも積極的に取り組み、特に指摘すべき事項はなく妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。